



www.chikamori.com ● 高知市大川筋一丁目 1-16 tel. 088-822-5231  
 発行●2020年3月25日 発行者●近森正幸 / 事務局●寺田文彦

出張報告 芝太郎	4
がん治療サポートチームより 内山里美	5
I & A 輸血機能評価認定更新	5
専門医取得報告 田井龍太	6
退職医師挨拶 (山本哲史・高松正宏)	6 - 7
山本百合看護師退職	7

目次



## 新人を迎えて 近森病院はなぜ高知で唯一 民間で急性期基幹病院になれたのでしょうか

社会医療法人 近森会  
 理事長 近森 正幸

### はじめに

1984年今から36年前、私が理事長、院長に就任した当時の近森病院は死亡率13%の野戦病院のような救急病院で、付添い看護で寝たきり患者が2/3を占め、1/3の病床で救急医療を行い、高知の地域医療の底辺を支えていました。

現在の近森病院はヘリポートを有する救命救急センターで、地域の医療を支える地域医療支援病院、災害時には真っ先にDMATを派遣する災害拠点病院、精神科の総合心療センターも統合し、512床の急性期基幹病院になっています。

補助金に頼れない民間病院がこのように大きく変化したのは、マネジメントをくり返し、努力し続けた結果といえます。

### マネジメントの本質は Focus (集中)

集中は何をするかではなく何をし

ないかであり、選択と集中が求められます。集中すれば足りない機能が出てくるので連携が必要になり、「機能の絞り込み」と「連携」がマネジメントのキーワードになります。

機能の絞り込みで例えば外科医は外科医にしかできない手術に絞り込めば、医療の質が上がり評判が良くなって患者数が増えます。また労働生産性も上がり単価が上がることで、売り上げが上がって設備投資や多くのスタッフを雇う原資が出ます。医療は人がするものですので、機能を絞り込むことで人件費率を上げることなく、スタッフが質、量ともに向上し、病院らしい病院として発展し続けることができます。

### 機能の絞り込みと連携

病院の機能を絞り込めば地域医療連携、病棟の機能を絞り込めば病棟連携、スタッフの機能を絞り込めばチーム医療が必要になります。

地域医療連携では落ち着いた外来の患者はかかりつけの先生方に逆紹介して、当院の外来は救急対応、紹介、専門外来に絞り込み、入院診療、特に手術に絞り込んでいます。そのため外来センターは完全紹介予約外来制で、再診はもちろん、初診の患者もかかりつけの先生方が紹介状を持たし予約して受診されます。予約する余裕のない急変した患者は本館A棟1階にあるERのウォークイン外来で対応しています。

重症で看護度の高い高齢患者は高度の医療と多くのスタッフが必要になるので、重症病棟で多くの看護師と多職種とともに医師が根本治療を行い、落ち着けば一般病棟へ移すという病棟連携を行っています。病状に応じたスムーズな転棟はベットのコントロールナースが担当しています。

チーム医療はマネジメントが最も難しい連携であり、公的病院ではあ

次頁へ続く

## 近森病院・近森リハビリテーション病院・近森オルソリハビリテーション病院からのお知らせ

📍 ゴールデンウィーク期間中の診療体制  
 暦どおりの診療体制です。

📍 病院カレンダー

2020年度の下記祝日は通常どおり  
 外来診療いたします。

2020年11月3日(火) 文化の日  
 2021年2月11日(木) 建国記念日  
 2月23日(火) 天皇誕生日

4月			5月						
28日 (火)	29日 (水) 昭和の日	30日 (木)	1日 (金)	2日 (土)	3日 (日) 憲法記念日	4日 (月) みどりの日	5日 (火) こどもの日	6日 (水) 振替休日	7日 (木)
通常診療	救急体制 での診療	通常診療	通常診療	救急体制での診療					通常診療

## 前頁から続く

まり導入されていませんが、近森病院では20年前からリハスタッフが病棟に出るようになり、それに続いて薬剤師や管理栄養士、臨床工学技士、メディカルソーシャルワーカー、歯科衛生士などが病棟に常駐し、チーム医療を展開しています。近森病院の病棟常駐型チーム医療の特徴は、多職種が週1回各部署から病棟へ出て来てカンファレンスで時間をかけて情報共有し、医師が指示を出し、多職種は業務を行うだけの医師中心のチーム医療ではなく、多くのスタッフが病棟に常駐し、多職種がそれぞれの視点で患者を診て、判断して直接患者に介入する自律、自働するチー

ム医療であり、多職種の専門性が高く、それぞれの職種が患者を診ていることから情報共有がリアルタイムに可能な、効率的で質の高いチーム医療を展開しています。

## さいごに

このようなマネジメントは近森病院だけでなく近森会グループ全体で実践され、医療の質と労働生産性を高め、病院が発展する大きな要因になっています。4年前の2016年4月の診療報酬改定で、7:1の看護師がそろえば診療報酬が入ってくるストラクチャー評価から、重症の患者を数多く集め、早く治して自宅へ帰さない診療報酬が入ってこないアウトカム評価に変わり、時代は右肩上がりから右肩下がり時代が大きく変わっています。

今までの発想にとらわれない自己

変革を続け、細かなマネジメントを積み重ね、アウトカムを出し続けることが求められる時代になりました。近森会グループは毎年毎年変わり続けています。それは患者の皆様に満足してもらい、スタッフ皆がいいきとやりがいを持って働ける職場づくりでもあります。

新人に期待することは、医師の指示で何も考えず業務をするのではなく、自分で考え判断し介入できるスタッフに育ててくれることです。頑張ってください。ちかもり まさゆき

## 第22回 近森病院公開県民講座～特別編～

記念講演会

心臓血管外科開設 20周年  
循環器内科PCI 30周年

6/13(土)

14時～16時(仮)

グリーンホールにて



## 4月の歳時記

## パンジー

近森病院 総合心療センター  
デイケア パティオ  
作業療法士 田淵 裕子



私の地元では、雪で隠れていた花壇が黄色のパンジーで彩られると春がやってきます。黄色のパンジーの花言葉「田舎の喜び」を表すように、次々に野山が色づきはじめるのを思い出します。βカロテンがトマトの4倍もあるそうで、可愛らしく、栄養豊富、丈夫で育てやすいといいこと揃いの凄いお花です。

たぶち ゆうこ



## ● 近森看護学校通信 41 ●

## 予餞会

近森病院附属看護学校 事務局 上甲 浩道

2月21日、卒業を控えた3年生にむけ予餞会を行いました。これは「卒業生に餞(はなむけ)をする」という意味で、在校生や教職員が3年生を送り出すための会です。当日は、在校生と教職員から歌やクイズの出し物が行われ、和やかな雰囲気での会を行いました。

国家試験を終えた3年生の表情も晴れやかで、在校生や教職員と一緒に楽しんでいました。3年生はこれから就職や進学でさまざまな場所へと巣立っていきますが、本校で過ごした3年間を胸に活躍してくれることと思います。じょうこう ひろみち



▲卒業生からの挨拶 ▼出し物(職員)



▲1年生から卒業生に向けた歌の出し物



## 支え合いながら成長する

近森会グループ看護部教育委員会

近森リハビリテーション病院 シニア看護師長 中村 里江



▼色紙は毎年、研修の締めくくりに、次年度の新人看護師のために作られます。



新人看護師研修「振り返りの会」を開催しました。久しぶりに同期が一堂に会し、この1年を振り返り成長したこと、自分の課題などを語り合いました。2年目に向けて、「患者・家族にもっと寄り添いたい」「他職種とつながってもっと支援をしたい」

など、さらに成長して良いケアをしたい、自己研鑽を積みたいという思いも聞かれ、頼もしく思いました。

研修を終え、「同期に会えてよかった」「これからも頑張りたい」という声が多く聞かれました。今のありのままの自分の言葉に耳を傾けてくれ、

「よかったね」「大変やったね」「私も同じ」とうなずいてくれる同期の存在に、看護という仕事に向き合っていく力をもらえたようです。「支え合いながら成長する」を大切に、これからも支援していきたいと思います。

なかむら りえ

### 私の趣味

#### 心のリフレッシュ

私は幼い頃から、両親の影響で多くの日本文化にふれる機会がありました。よく家族で、父の雅楽の演奏会や、お茶会、着物を着ての外出等、色々な場所に行ったり、見たり、参加したりしていました。

高校生になると茶道、社会人に



近森リハビリテーション病院  
医事課

鎌倉 あゆみ



まうことが多いため、本番前日に動画で確認するなどして復習しています。

茶道、華道、着付け、すべて無我夢中になるので、終わってみると予定外に時間が経過していることがよくあります。しかしこのように無心で何かに取り組める時間が私にとって大切な時間であり、またリフレッシュになっているのだと思います。

しかし、茶道と着付けは実践から離れると忘れてし

これから新たな趣味を探しながらチャレンジしていきたいです。

かまくら あゆみ



## WALANT を学んできました

近森病院 整形外科 芝 太郎

神経ブロックと違い、術中に自動運動を確認しながら治療できるのもWALANTの強みです。

今回の講師はカナダ人形成外科でWALANTの権威Don Lalonde先生(写真左端1番手前の白髪の先生)をはじめ、以前当院でフェローをされたマレーシア人整形外科のAmir先生(奥の赤いTシャツの先生)達が参加されており、幸運にも夜の食事会にも参加させていただきました。

Amir先生の左側に写っているスペイン人の手外科の先生は10代続く医師の家系とのことで“ご先祖は床屋をやっていた”と医の歴史で読んで、昔は床屋が外科医をやっていた

という話は本当なんだ！と感銘をうけました。講師の先生達のおかげでとても楽しい時間を過ごすとともに、WALANTを学べてよかったです。日本では末梢にエピネフリ

ン注射をすることはまだ国試でも禁忌ですが、もっと勉強して臨床応用していきたいと思います。

しば たろう

スペインのマヨルカ島で行われたWALANTの勉強会に参加させていただきました。

WALANTはWide Awake Local Anesthesia with No Tourniquetのことをいいます。

手外科の範囲でエピネフリン入りの局所麻酔を使用した局所麻酔方法の1つです。エピネフリンを使用することで駆血帯を使わずとも術野がきれいに見え、また駆血帯を長期間使用することによる疼痛もありません。またおなじ覚醒下の手術でも



## 献血キャンペーン

ありがとうございました。

3月4日(水)に献血キャンペーンを開催しました。

当日は雨で、また受付も院外に変更しての実施でしたが、33名の方にご協力いただきました。

献血が急減のニュースもあり、良い時期に貢献できたかと存じます。

ご協力、ありがとうございました。



## お弁当拝見 81 時間をかけず彩り良く



近森病院  
北館3階病棟  
クラーク 門田 奈美

お弁当作りといってもなにかと忙しい朝は、前の日の夕食のおかずを詰めてしまうだけのことも多々あります。

そんなときでも、蓋を開けたときに少しでも美味しそうに見えるように、彩りには気を付けています。た

まには茶色一色なんてこともあります・・・。

最近ではインターネットのSNSなどを見て、味付けや、詰め方、いろいろな時短のテクニックを参考にします。

それでも、少しでもお昼が楽しみ



になるような、彩りのいいお弁当作りを心がけています。

かどた なみ

## がん治療サポートチーム ～お食事編～

臨床栄養部 副部長 内山 里美



がんの患者さんは多くのエネルギーを必要としています。食事量が少ないと、筋肉量や体重の減少、栄養状態の低下を招いてしまいます。がん患者さんこそ、必要な栄養素を摂ることは非常に重要です。

なかでもたんぱく質は特に摂っていただきたい栄養素です。肉や魚、豆腐、卵、乳製品がたんぱく質を多く含む食品になりますが、これらは筋肉や栄養状態を維持するのに重要な栄養素です。できれば、魚や豆腐、卵をしっかり摂りましょう。

またビタミンやミネラルも摂りたい栄養素です。不足すると体調不良や味覚異常につながります。季節のものを食べやすく料理していろいろな種類の野菜を摂りましょう。ご飯やパンに代表される炭水化物は、体

のエネルギー源になります。

しかしながら、がんの治療中では、食べられなくなってしまうさまざまな症状が出現します。例えば、化学療法の副作用による嘔気や嘔吐、味覚異常、腹部膨満などがあります。症状やその程度は患者さんによりさまざまです。「食べないといけなひのは分かっているのに、食べられない」「好きだったこの料理が好きじゃなくなった」「食べることが苦痛」という悩みを経験される方も少なくないのではないのでしょうか。

私たち管理栄養士は、患者さんの症状に応じて少しでも食事から栄養を摂っていただけるようサポートをできればと思っています。

うちやま さとみ  
一回は漢方編を解説しますー

## I & A 輸血機能評価認定更新



## リレー エッセイ

### 私、技師たまに農家

近森病院 画像診断部 診療放射線技師 佐野 寿人



家庭菜園を始めるきっかけは、(新鮮で安全な野菜をたらふく食べたい)でした。初めは、家の隅に畳3枚程のスペースを汗まみれになりながら、開墾して小さな畑を作りました。トマト・ジャガイモ・大葉などを少しづつ育てて楽しんでいましたが、これでは、もっと食べたいという衝動を押さえきれず、地域の広報誌に団地が管理している菜園の募集があり、5m×10mの畑を借りてしまいました。しかし、本格的な畑の作り方・種まきの時期・肥料の配合など知らないことだらけで、本を何冊も読んだりして勉強しましたが思うようにはいかず2、3年は大変でした。

例えば、人参の種を植え沢山の芽

が出てきて、ある程度、抜かなければいけないのですが、(もったいない病が発症してしまい)そのまま育てたら、小指の先ぐらいにしか育たず、食べられなかった事や、ある日、畑に行くとイノシシに土を掘り起こされ傍らに大根がぬかれていたこともありました。(イノシシは、土の中にいるミミズを食べるようで、大根無傷、食べていけよ！)

色々経験しながら今年で7年目、夏はじゃがいも・とうもろこし・たまねぎ・枝豆・オクラ・すいか・ウリメロン・ニンニク・空豆・バジル・スナップエンドウ・なす・ししとう・ピーマン(きれいなのでたべませんが一応作ります)。冬はじゃがいも・大根・白菜・キャベツ・カブ・ほう

れん草・春菊・ブロccoli・カリフラワーと当初

に比べると格段に成功するようになり、収穫できる種類・量も増え、新鮮で安全な野菜を家族で沢山、食べられるようになりました。これからも作ったことのない野菜にトライしていけたらと思っています。

さの ひさと



## ばばんばばんばんばん

近森病院 循環器内科  
部長 山本 哲史

2009年4月から勤続11年



退職を決めてから、皆さんに声をかけていただいたのは、まず「忘年会はどうするの?」という言葉でした。そう、私の近森病院での一番の功績は、「内科忘年会改革」にあったのです。

皆さんご存知の通り、内科の忘年会には、医師が全員参加で芸をして、いつもお世話になっている皆さんに恩返しをするという趣旨があります。何故か私は入職の年から忘年会部長に抜擢されました。私は歌うことも、踊ることも、上手に喋ることも苦手だったので、とにかく裏方としての忘年会作りに励みました。最新のヒットソングや、流行りのお笑いネタだけでなく、懐かしの名曲、マニア受けしかしないような小ネタまで、毎年多くの芸を企画しました。

また、内科の先生方には毎回、無理難題、いろいろな注文をつけてきましたが、忙しい日常臨床のなか、いつも非常にクオリティーの高い芸に仕上げてきてくれました。

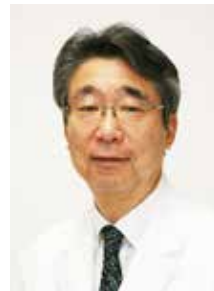
おかげを持って、忘年会は大盛況で、年々参加者が増え、土佐御苑さんの大宴会場が満席になる程でした。それに連れ、期待度も年々増し、プッシュシャーにもなっていました。

ダンス指導をしてくれたコメディカル、莫大な準備をこなしてくれた内科秘書の精鋭たち、忘年会前の変な一体感が大好きでした。

やまもと さとし

## 山本先生ご退職にあたって

近森病院 副院長 兼 循環器内科  
主任部長 川井 和哉



山本哲史先生は1995年に関西医大を卒業し、関西を中心に研修後2008年からは関西医大附属枚方病院で病院講師を務めていました。地元は高知で土佐高校63回生です。本人の希望で、2009年4月から当院循環器内科に入職、以来11年のお付き合いになります。冠動脈のカテーテル治療(PCI)に熱心に取り組み、2014年には日本心血管インターベンション治療学会専門医を修得されました。特に慢性完全閉塞病変(長期間冠動脈が閉塞したままなので治療が困難)の治療は高い専門性が需要で、ほとんど山本先生に依頼していました。四国お遍路ライブやARIAなどのPCIライブデモンストレーションでも術者として活躍し、県外でも有名な医師として成長してくれました。好奇心旺盛かつ多才であり、不整脈診療にも力を発揮してくれました。この一年は、彼が中心となり不整脈チームを引っ張ってくれました。

医療安全委員会の委員長やクリニカルパス委員などを兼務し、臨床以外でも大いに頑張ってくれました。他科の医師やコ・メディカルと気さくに会話できる、コミュニケーション能力の高い彼だからこそできた仕事だと思います。また、内科大忘年会をプロデュースした手腕は素晴らしいものでした。

山本先生は4月から細木病院に異動になります。当科にとって大きな痛手ですが、気心の知れた医師がいる病院が増えると前向きに考えています。幸い、当科の若い力も育っています。これからも、お互いに協力し高知の循環器医療を盛り上げていきたいと思っています。

かわい かずや

## 心臓血管外科専門医試験に合格



## 心臓血管外科専門医取得

近森病院 心臓血管外科 田井 龍太



この度心臓血管外科専門医試験に合格し、2020年1月から専門医となりました。2017年には外科専門医を取得していましたが、上位資格にあたる心臓血管外科専門医は私にとって一つの大きな目標でした。

受験資格には診療実績が必要で多

くの受験生にとってネックとなるのが手術件数、執刀経験です。私の場合は近森病院をはじめとした諸施設で多くの経験に恵まれており大幅にノルマをクリアしておりました。これは、余裕をもって受験資格を得ただけではなく、これまでに多くの患

者さんを診させていただいた証でもあります。

これまでの経験を糧に専門医の名に恥じぬよう、そして患者さんに安心と安全をお届けできるよう日々精進して参ります。

たい りゅうた

## 退職医師よりご挨拶 / 所属長より言葉

## 恵まれた環境で



近森病院 消化器内科  
部長 高松 正宏  
2010年10月から勤続9年6カ月

1993年に高知県立中央病院に赴任し、高知に来て27年目となりました。私のこれまでの人生のちょうど半分が高知で過ごしたことになります。

近森病院に赴任したのは2010年でした。現在のA棟の場所にあった旧本館にちょっと暗い内科の医局が有り、1階に狭い透視室、緊急内視鏡室が有りました。その後旧管理棟が北館になり、ホテルだったところが管理棟、マンションだったところが外来センター棟と次々に新しく生まれ変わる近森病院とともに、内視鏡センターも広く新しくなり、恵まれた環境で内視鏡をさせていただくことができました。

榮枝先生をはじめとした消化器内科の先生方、内視鏡センターのスタッフの方々、それから近森病院すべてのスタッフの方々にも恵まれ、充実した職場で仕事をさせていただきました。皆様には、感謝の言葉しかありません。本当にありがとうございました。

このたび、4月1日より中土佐町久礼のクリニック土佐久礼を継承させていただくこととなりました。微力ながら、少しでも地域医療に貢献できれば、と思っております。

近森病院には今後もお世話になることが多いと思います。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

たかまつ まさひろ

## 高松先生ご退職にあたって



近森病院 消化器内科  
主任部長 榮枝 弘司

高松先生長い間ありがとうございました。

高松先生は、消化器内科に10年間近く勤めていただきましたが、その診断の的確性と卓越した内視鏡技術には、我々も全幅の信頼を寄せていました。

消化器疾患全般にオールラウンダーですが、特に数多くの炎症性腸疾患の患者さんも診られており、小腸内視鏡による診断治療や難渋する膵胆道疾患に対する内視鏡治療技術に大いに助けられました。そして看護師や若手医師の指導にも力を入れられ、その優しく誠実な人柄で患者さんだけでなく、スタッフからも非常に信頼が厚く慕われています。

これからもリーダーとして消化器内科を引っ張っていてくれると思っていましたので、今回退職されることになり、残念でなりません。

しかしながら高齢化が進み医師の偏在が問題になっている高知県において、今回クリニック土佐久礼を継承され、地域医療を支えていく医師の一人となることを決断されたことには敬意を表したいと思いますし、今後のご活躍を消化器内科一同期待し、エールを送りたいと思います。

またこれからも週1回外来にきていただくことになっており、今後も若手医師にご指導をお願いしたいと思います。

さかえだ ひろし

## 前・高知市北部地域高齢者支援センターえのくち出張所所長より退職のご挨拶

## 2020年 チャレンジ GO!

訪問看護ステーションちかもり 看護師 山本 百合  
(前・高知市北部地域高齢者支援センターえのくち出張所所長)  
1988年3月から勤続約32年



看護師として近森病院に就職したのは、今の管理棟第二別館が「近森病院分院」と呼ばれ3階に透析室があった昭和の終わり、注射や採血など一から教わりました。

平成になり近森リハビリテーション病院、老人保健施設いごっぱち、訪問看護ステーションちかもり。その後は高知市の委託を受けた高齢者の相談窓口で保健師として10数年

勤務しました。東京オリンピックの年に生まれた私。オリンピックの年に再チャレンジ！次はゼロから！

やまもと ゆり

## ニューフェイス

- ①所属②出身地③最終出身校  
④自己アピールなど

Blank area for New Faces submissions.

## 人の動き 敬称略

Blank area for People's Movement news.

### 2020年2月の診療数 システム管理室

近森会グループ	
外来患者数	16,159人
新入院患者数	923人
退院患者数	945人
近森病院（急性期）	
平均在院日数	14.3日
地域医療支援病院紹介率	89.95%
地域医療支援病院逆紹介率	303.96%
救急車搬入件数	507件
うち入院件数	274件
手術件数	428件
うち手術室実施	310件
うち全身麻酔件数	199件

● 2020年2月 県外出張件数 ●  
件数 33件 延べ人数 42名

## おめでとう

Blank area for Congratulations messages.

### 職員対象 第103回

## チカモリ・シネマクラブ

Blank area for Chikamori Cinema Club activities.

## 編集室通信

最近、小学校の息子と一緒にクイズ番組を視聴することが多くなった。問題が出ると子供は回答するが正解しないことが多い。だが時々、親が答えに窮する隣で子供が早く正答することがある。その時は、子供に負けたという悔しさがある一方、親として子供が成長したなあと感じる嬉しさがあり複雑な気持ちになる。

つつじ



## 正解より「最適解」を見つけない

### 塩田科長絶賛

高校時代の柔道部の経験から、スポーツに関わる仕事に就きたいと思うようになった。それが理学療法士を目指すきっかけとなり、新卒で近森会に就職して丸13年。近森病院から各院を順に数年ずつ経験し、現在のオルソ病院リハビリテーション部ではこの2月から4年目に入る。

塩田直隆科長には、オルソでも一定慣れてきた小松さんが、とても頼もしく映るようだ。「訪問リハビリの経験を生かした在宅への調整はスムーズだし、実際の訪問でも頼りになる。また、靴の選び方や履き方、インソール（中敷き）作製にも積極的に関わり、外来患者さんやスタッフの靴にまつわる悩みがサポートできている。インソール資格も持っている、自身で採寸し、最適な形になるよう切り貼りも行なう。その技術や知識を持つ仲間を増やせるよう勉強会も開いてくれている。貴重な人材。学術活動では、各部署で発表を経験しており、オルソでもぜひとも発表してもらいたい」と期待を寄せている。

### 想定外の先の想定外

各院での細かい実践内容がクリアになる頃の異動を、「本当にラッキーでした」と、小松さんは受けとめている。理学療法士として、身体を見る視点と生活を見る視点は違って当たり前なのに、その関わり方の違いにさえ異動当初は戸惑うこともあったという。とくに、訪問リハビリテーション部門では、戸惑うことも多く、「病院と家庭での実践の違いの難しさ」が身に沁みたと感じるが、それが現在の糧ともなっている。

救急搬送され、よくなって退院していった皆さんが、自宅でどんな毎日を送られているか。急性期でも回

復期でも、いずれも「自宅での生活」を想定している筈なのに、想定その先の想定外が次々出てくるのが実際の生活の場面だったとか。

そもそも、病院と自宅では「リハビリテーションに対する患者さんの受けとめ自体が違う」場合があることを痛感。同じ患者さんが退院後、安全のため、ここに「手すり」が要ると医療者に判断されても、この場所に余計なものはイヤ！となる。「時間ですよ。リハビリ室に行きますよ」とスムーズだったものが、自宅では「きょうは動くのイヤじゃ〜！」と強硬に言い張られた例とか…。

結局は、「何を望まれ、どの方向を目指すべきかの折衷案を見つける」ことになるが、この方向性はどのステージでも重要であると異動の経験や研修会によって教えられた。

### インソールの仲間を増やしたい

そもそも、インソール作製を始めたのは、同期が「一緒に勉強しよう」と勧めてくれたためだった。「勢い」もあり、講習会や受験に10回近く県外へも通った。「当時は独身で時間もお金も自由に使えたし…（笑）」。研修会で足元の鍛錬が身体全体の機能を良くすることに繋がると叩き込まれ、「いまさらだけど」改めて実感、足元の重要性を考え直したのだそう。

講師に「正解にこだわるより、最適解を見つける努力」を強調された。それが日々の業務へ応用できると気づかされた。

患者さんに「何を望まれているか、きちんと観察する」とか、「話をよく聴く」とか、極めて基本的なことだが、これが実は難しいし、「きちんと出来た」と思えたら、納得もいき、患者さんからは「動きやすくなった」とか、「元気になれて嬉しい」とか、自分の喜びにも繋がる声が聞けている。

▼フットゲージを使って足の横幅を計測中



### 職場結婚、当世風

後輩の優子さんと職場結婚したのは4年前。一緒にいて楽しいとか、波長が合うとか、居心地がいいとか、結婚に至る道筋には「特別なことはとくにありません〜（笑）」。

3歳になった芽生ちゃんの子育てでも家の用事でも、「早く帰って、できる方ができることをする」。これも今の時代には当然の感覚らしく、とくに物分かりがいいとか頑張り屋ということでもないらしい。

「状況に合わせて、それぞれが出来ることをするというスタンスではありますが、お互いの親からサポートを受けることも実はしばしばです〜（笑）」とも言っていた。

▼芽生ちゃんと（優子さん撮影）





## 新たなスタートに向けて

卒業生 山崎 絵里奈



看護学校への入学前は、社会人経験を経ての新たな学生生活に年下の子たちに馴染めるか、家事育児はどうなるのか不安でいっぱいでしたが、素敵な友人や先生方に恵まれ、家族にたくさん支えてもらい、あっという間の楽しい学生生活を終えることができ感謝の気持ちでいっぱいです。

今年は新型コロナウイルス感染症の影響により制限がある中でも卒業式をしてくださり、多くの法人関係者・

保護者の方が私たちのために参加してくださり、私たちはたくさんの方々に支えられて卒業できることをありがたく思います。

4月から看護師として新たにスタートします。学校で学んだことを忘れずに勉強を続け、患者さんとその家族に寄り添った看護師になれるように、これからも努力し続けていきたいと思っています。 やまさき えりな

## たくさんの人に支えられて

3年生担任 田原 佳奈

新型コロナウイルスにより開催が危ぶまれる中、縮小しつつも無事に卒業式を挙げる事ができました。マスクを着用していましたが、そこから覗かせる一人ひとりの目からは未来を見据えた力強さを感じました。

卒業生代表の正木さんの答辞の中に「自分一人の力ではここまでくることはできなかった」とありました。この3年間で学生達がいかに色々な人達とかかわり、経験をし、仲間や家族、病院スタッフ、患者さん達に支えら

れてきたのか、そして、それらを学生達がしっかり受け止めてくれていたのだと嬉しい気持ちになりました。

3期生は、不測の事態が発生しても「なら次にどうするか」を前向きに考え行動できるクラスだったと思います。これから社会に出ると、マニュアル通りに事が進むことはありません。状況に応じて臨機応変に柔軟に対応できる、その力をこれからも発揮してくれることを期待しています。 たはら かな



優秀賞受賞のみなさん

